

平成28年度の災害について

平成29年6月27日

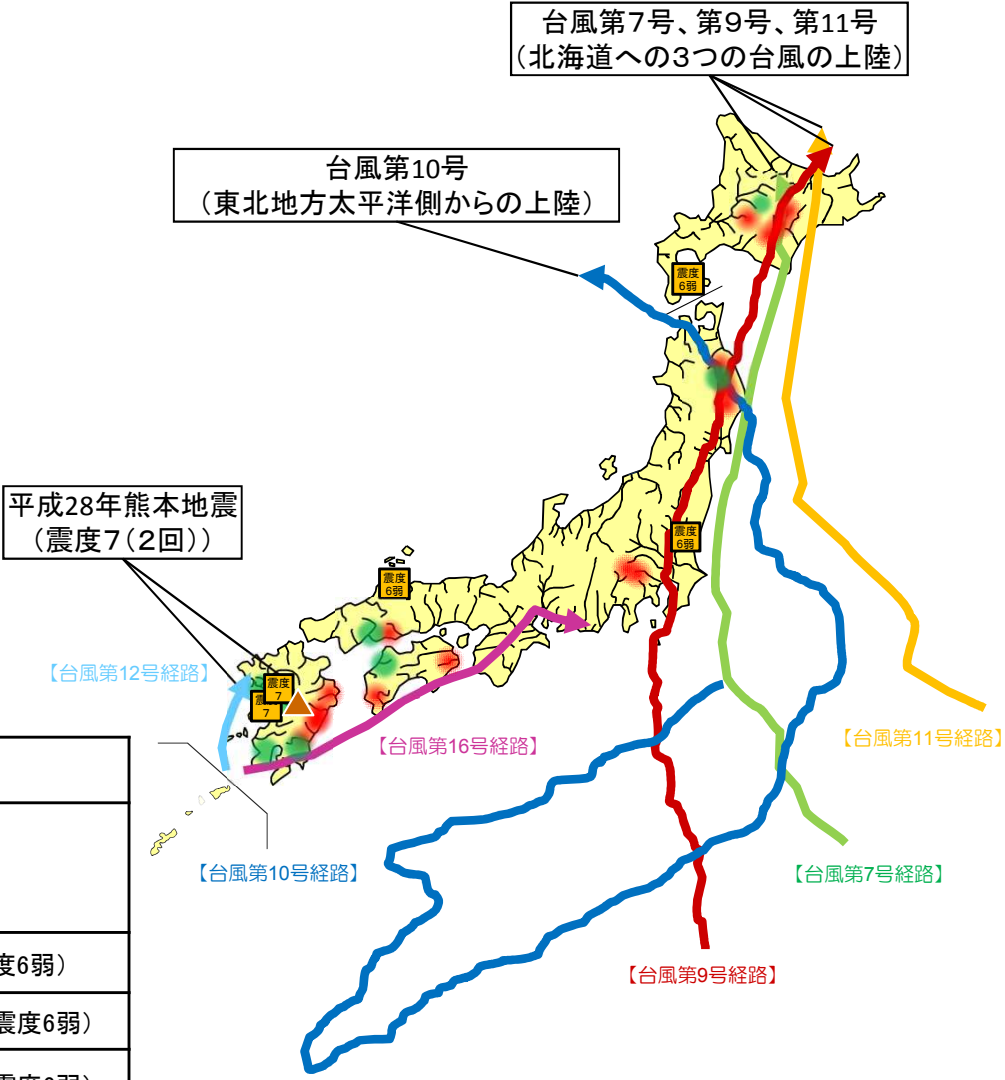
水管理・国土保全局 防災課

平成28年度に発生した主な災害

○平成28年度は、熊本地震における短期間で2回の震度7の地震の発生、北海道への3つの台風の上陸、東北地方太平洋側への台風の上陸、地震と梅雨前線豪雨の複合災害の発生など、近年発生していなかった災害が数多く発生。

【凡例】

- 主な水害
- 地震(震度)
- ▲ 火山噴火
- ➡ 台風経路
(日本列島に上陸した台風)
- 主な被災地域



平成28年度の主な水害 (床上浸水10戸以上発生)	
6月	6月19日から続く一連の大雨
8月	台風第7号
	8月20日から続く大雨 (台風第11号、第9号)
	台風第10号
9月	台風第16号

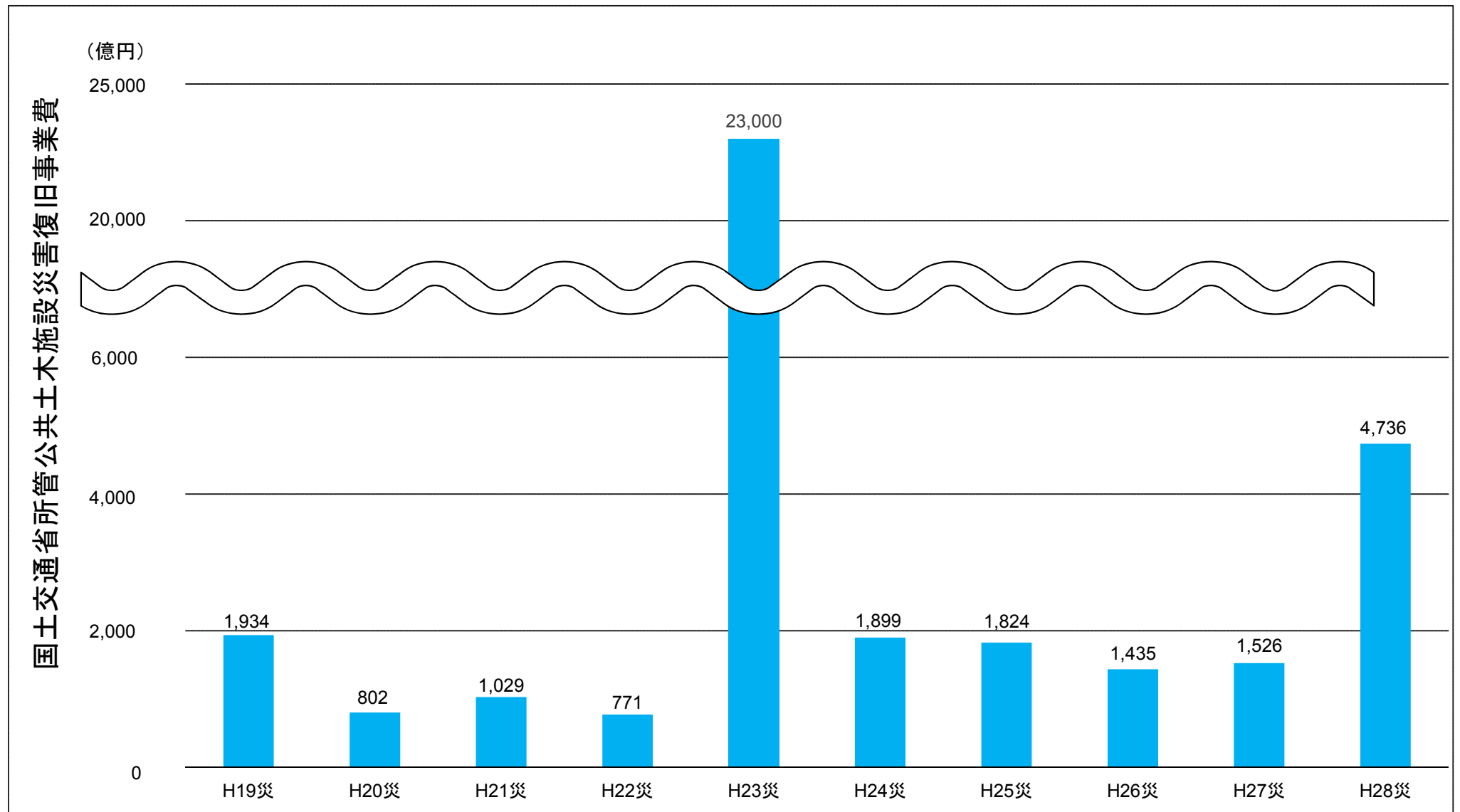
平成28年度の主な土砂災害 (土砂災害発生件数が100件以上)	
4月	熊本地震
6月	6月19日から続く一連の大雨
8月	台風第10号
9月	台風第16号

平成28年度の噴火警戒レベル(3以上)の引上げ		
10月	阿蘇山	噴火警戒レベルを 2(火口周辺規制)から 3(入山規制)に引上げ

平成28年度の主な地震 (震度6弱以上発生地域)	
4月	平成28年熊本地震 震度7 (2回) 震度6強(2回) 震度6弱(3回)
6月	内浦湾を震源とする地震(震度6弱)
10月	鳥取県中部を震源とする地震(震度6弱)
12月	茨城県北部を震源とする地震(震度6弱)

公共土木施設災害復旧事業費の推移

○平成28年に発生した災害は、過去10年間（H18～H28）で、東日本大震災が発生した平成23年に次ぐ大きな規模となった。

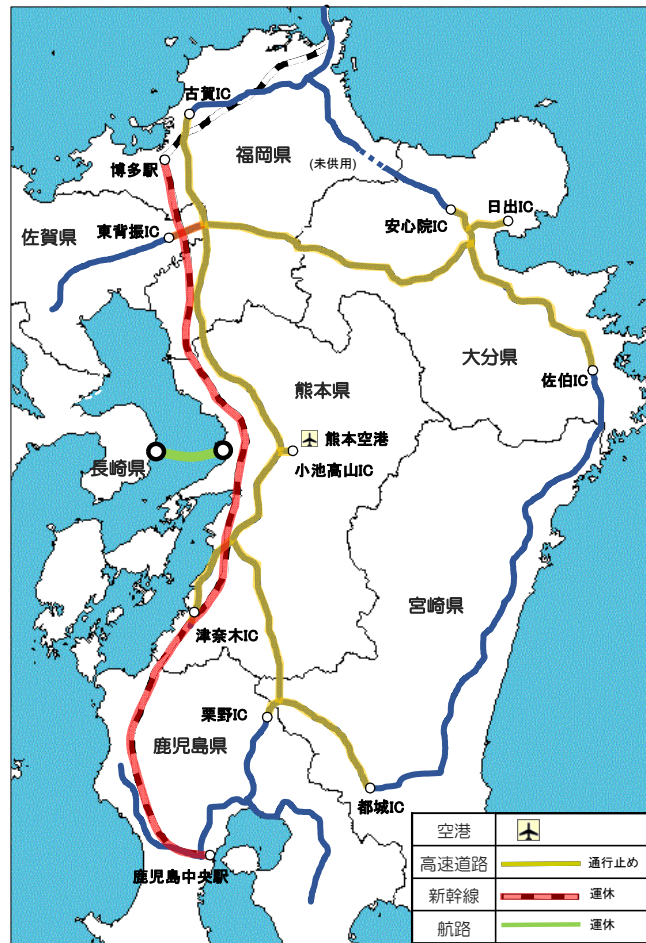


※国土交通省所管公共土木施設：河川、海岸、砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設、道路、港湾、下水道、公園

平成28年4月 熊本地震による災害の概要

- 4月14日21時26分に熊本地方で発生した震度7の地震及び16日01時25分に発生した震度7の地震により、死者228名、重傷者1,149名、軽傷者1,604名が発生。(消防庁情報:平成29年4月13日時点)
- 国道57号、325号の通行止めやJR豊肥線、南阿蘇鉄道の運休、阿蘇大橋地区における大規模な斜面崩壊等の被害が発生。また、九州新幹線の全線運休、高速道路の通行止めや熊本城の被災などの被害が発生。
- 国土交通省では、発災直後から応急復旧等を実施し、被災した交通インフラや河川の早期復旧、応急的な住まいの確保、観光振興への支援等に取り組むとともにTEC-FORCEを派遣し、被害状況調査や土砂災害危険箇所の点検、緊急車両通行のための道路啓開等の支援を実施。(TEC-FORCEのべ10,912人・日)

高速道路、新幹線、空港、航路の被害(平成28年4月16日時点)



斜面崩壊による道路、鉄道の寸断



新幹線脱線(熊本駅南側)



土砂崩落(大分道由布岳PA付近)



熊本城の被害

平成28年6月 6月19日から続く梅雨前線豪雨による災害の概要

- 6月19日から続く梅雨前線豪雨により、西日本を中心に全国33道県で513件の土砂災害が発生し、死者6名、負傷者7名、人家被害103戸の被害が発生。
- 国土交通省ではリエゾンを派遣し、支援に必要となる被害情報の把握、災害対策用機械等の派遣調整等を行うとともに、TEC-FORCE及び排水ポンプ車14台、照明車15台を派遣し緊急排水等の支援を実施。(TEC-FORCE のべ230人・日)

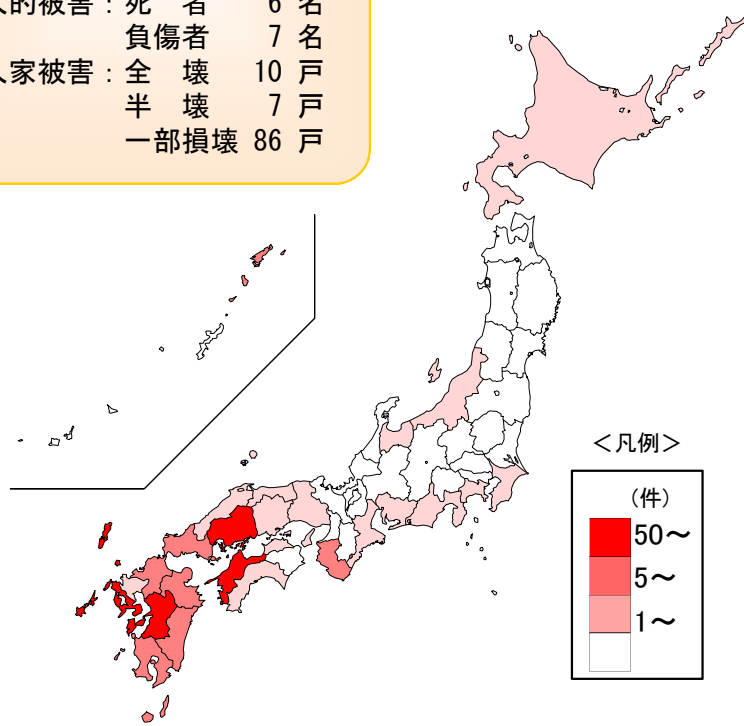


土砂災害発生件数 513件

土石流等： 62件
地すべり： 9件
がけ崩れ： 442件

【被害状況】

人的被害：死 者 6 名
負傷者 7 名
人家被害：全 壊 10 戸
半 壊 7 戸
一部損壊 86 戸



各都道府県における土砂災害発生件数



平成28年8月 一連の台風による災害の概要（北海道）

- 8月に相次いで発生した一連の台風により、石狩川水系空知川や十勝川水系札内川における堤防の決壊、常呂川水系常呂川における越水等の被害が発生。
- 国土交通省では、堤防等の応急復旧を実施するとともに、台風上陸前からリエゾンを派遣し、支援に必要となる被害情報の把握、災害対策用機械等の派遣調整等を行うとともに、全国からTEC-FORCEを派遣し、被災状況調査や排水ポンプ車による緊急排水等の支援を実施。（TEC-FORCE のべ1,504人・日）

石狩川水系空知川

（南富良野町）（台風第10号）

堤防決壊 2箇所

浸水面積 約130ha 浸水家屋183戸



空知川の堤防決壊状況（南富良野町）

十勝川水系札内川（帯広市）

（台風第10号）

堤防決壊 2箇所

浸水面積 約50ha 浸水家屋2戸他



札内川の堤防決壊状況（帯広市）

常呂川水系常呂川（北見市）

（台風第9、11号）

堤防決壊 1箇所 越水4箇所

浸水面積 約215ha



常呂川の堤防決壊（北見市）



浸水状況（北見市）



※ 記載されている数値や図表は速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

平成28年8月 一連の台風による災害の概要(青森県、岩手県及び宮城県)

- 台風第10号により、高瀬川水系ニツ森川や小本川水系小本川で堤防が決壊する等、12水系20河川において浸水被害が発生。特に、河川の氾濫等により道路が通行不能となった岩手県岩泉町等においては、多くの孤立集落が発生。
- 国土交通省では、台風上陸前からリエゾンを派遣し、支援に必要となる被害情報の把握、災害対策用機械等の派遣調整等を行うとともに、TEC-FORCEによる緊急排水や自治体所管施設の被害状況調査を実施したほか、岩手県と連携し、孤立の解消に向け、道路啓開や流失した道路の応急復旧等の支援を実施。(TEC-FORCE のべ2,467人・日)

主な被災箇所位置図

くじがわ かまたがわ おさないがわ
久慈川、川又川、長内川(久慈市)
・越水等により、床上浸水約850戸、床下浸水約150戸



H28. 8. 30撮影



H28. 8. 31撮影

久慈川(右岸)越水状況

久慈市内 被害状況

おもとがわ しすがわ
小本川、清水川(岩泉町)
・溢水・越水・決壊により浸水339ha、床上浸水723戸、
床下浸水121戸



H28. 8. 31撮影



H28. 9. 1撮影

小本川 被害状況①

小本川 被害状況②



一級河川(国管理区間)
一級河川(県管理区間)
二級河川

あつか
安家川(岩泉町)
・溢水により浸水約17ha、床上浸水101戸、
床下浸水10戸



H28. 9. 5撮影

平成28年10月 鳥取県中部を震源とする地震による災害の概要

○10月21日14時7分に鳥取県中部で最大震度6弱の地震が発生し、重傷者9名、軽傷者23名が発生するとともに、家屋については全壊18棟、半壊306棟、一部破損14,765棟の被害が発生。（消防庁情報：平成29年5月22日時点）

○重要伝統的建造物保存地区「白壁土蔵群」では建物の外壁が崩落するなどの被害が発生。

○国土交通省では、地震発生後、倉吉市、北栄町、湯梨浜町、三朝町や鳥取県庁へリエゾンを派遣し、支援に必要な被害情報の把握、災害対策用機械等の派遣調整等を行うとともに、TEC-FORCEを派遣し、被災箇所の早期復旧の支援や、被災建築物の応急危険度判定等の支援を実施。（TEC-FORCE のべ230人・日）



白壁土蔵群における外壁の崩落状況（鳥取県倉吉市）



家屋の被災状況（鳥取県北栄町）

平成29年1月 大雪等による災害の概要

- 1月中旬～2月中旬にかけての大雪により、死者65名の人的被害や、中国地方を中心に車両数百台の立ち往生が複数回発生したほか、富山県でも、南砺市利賀村上百瀬で土砂災害が発生し家屋9棟が破損する等の被害が発生。
- 国土交通省では、3度にわたり、事前に国土交通省緊急発表を行うとともに、リエゾンを派遣。防災ヘリによる被災状況調査に加え、除雪トラックの派遣等の除雪支援を実施したほか、南砺市への遠隔操縦式バックホウや衛星通信車の派遣等の支援を実施。(リエゾンのべ74人・日)

